トップメッセージ

地域・社会への貢献を通して、信頼される企業を目指してまいります

企業は、地域や社会そして地球にも密接なつながりを持ち、その一員として存続しています。そして私たちメイコーは、これらに対して果たすべき役割は何かということを常に意識し、社会から受け入れられ信頼される企業になることを目指しています。また、その成果を積極的に開示し、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションを通して、さらなる価値を創造していくことが重要な社会的責任であると考えています。たとえば、環境破壊や資源・エネルギー問題、人権問題、自然災害や食糧問題など、世界で様々な問題が起こっていますが、これらは人類共通のテーマとして国際機関、各国政府、企業、そしてすべての人々が連携して各々の役割を果たしていくことが求められます。メイコーも自らが果たすべき役割をしっかり認識し、真剣に取り組んでいます。

代表取締役社長
名屋 佑一郎

事業活動において、メイコーは生産プロセスから発生する環境負荷を低減し、資源効率を高めて持続可能な社会の構築に貢献しています。また製品面では、環境社会の実現に貢献する太陽光発電、ハイブリッドカーや電気自動車等の重要な部品として、また自動車運転における安全や安心を実現する基板として大電流基板や高放熱基板、高周波基板などの製品化をおこなっています。さらにサプライチェーンについても、低コストだけでなく資源の枯渇や生態系の劣化を考慮した調達活動をおこなっています。また内戦や民族対立が発生する地域の「紛争鉱物」や「児童労働」などについても、その地域や企業からの資材調達を排除するグループ方針を定めています。コンプライアンスについても、世界の多様な規範や倫理を尊重して、規定やマニュアルを整備し全従業員への周知徹底を図っています。メイコーの従業員一人ひとりが、世界基準のCSRを意識し取り組みを進めています。

また、メイコーは、福島工場の敷地内に2015年6月に開設した「ソーラーパーク福島」の隣接した空地に太陽光パネルの増設工事が完成し、2017年4月に発電を開始しました。

今回の発電設備は、敷地面積約7,500㎡にソーラーパネル2,016枚を使用したもので、出力が534kwとなり現在の設備と合わせて約3000kwの発電規模となります。現在の発電設備は毎月安定した発電をおこなっていますが、新発電設備の稼動によりさらに事業規模が拡大することになります。

東日本大震災以降、福島県と広野町が積極的に進めている、再生可能エネルギーの普及活動や地球環境と持続可能社会の形成にさらに大きく貢献できるものとなっています。

企業行動憲章

メイコーグループは広く社会にとって有用な存在であることを目指します。
そのため、次の9原則に基づき、持続可能な社会の創造に貢献するグローバル企業として行動します。

1. 社会的に有用で信頼性の高い製品・サービスを、品質・安全性や顧客情報の保護に十分考慮して開発・提供し、お客様の満足と信頼を獲得いたします。
2. 創造的な技術開発に挑戦し、新規事業の開拓を行い、豊かな未来に貢献します。
3. 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
4. 株主はもとより、お客様・投資家・お取引先・従業員など、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正・迅速に開示し、企業活動の透明性を高めます。
5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で活き活きと働きやすい環境を実現します。
6. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、地球環境への負荷を軽減し、持続可能な社会づくりに貢献します。
7. 良き企業市民として、積極的に研究、教育、環境保全、地域社会奉仕などによる社会貢献活動を行い、反社会的勢力および団体とは断固として対決いたします。
8. 国際的な事業活動においては、グローバルルールやローカルの法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献いたします。
9. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範のうえ、社内に徹底するとともに、グループ企業や取引先に周知させます。また、社内外の声を常時把握し、実効あるガバナンスの整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。

メイコーグループ経営理念

「顧客に最高の価値とサービスを提供し社会に貢献する」
「最高への挑戦」
「企業の価値を高め社員と社会に幸福を」

■ ステークホルダー

企業は、関係するすべてのステークホルダーとのつながりの中で事業をおこなっています。メイコーでは世界中で働く社員一人ひとりが、CSRをすべての事業活動の中核をなすものと認識し、各々の地域で信頼を得られるよう、社会の一員としての責任を果たしてまいります。